

Woltで「デリバリーなのに店頭価格」！札幌市で開始！

～デリバリーがより利用しやすく！

物価高による家計負担の軽減、出かけるのが難しい方々の負担軽減に～



デリバリーサービス「Wolt（ウォルト）」を展開するWolt Japan株式会社（本社：東京都渋谷区、代表：ナタリア・ヒザニシヴィリ、以下 Wolt）は、2025年4月7日（月）より、デリバリー商品価格を店頭と同じ商品価格とする「デリバリーなのに店頭価格」*の取り組みを、札幌市エリアで開始いたします。お客様は、取り組みに参加する店舗からのデリバリーについて、店頭と同じ商品価格でご注文いただけるようになります。

一般的にデリバリーサービスに掲載される商品の価格は、店頭で購入できる商品価格よりも高く設定されています。これは、店舗による価格設定において、デリバリーサービスに係るコストを店頭価格に上乗せするのが慣習となっているためです。なお、海外では、デリバリー商品価格も店頭価格と同じ価格なのが一般的で、デリバリー商品価格が店頭価格より高く設定されているのは日本固有の商慣習となっています。

一方で、米や野菜など、生活に欠かせない食品や日用品の価格上昇は止まるところを知らず、家計への圧迫は強まる一方です。そのような中、小さいお子様がいるご家庭や免許を返納した高齢者な

ど買い物や外食に出かけるのが難しい消費者は多くいらっしゃいます。このようにデリバリーを使いたい、また、必要としているにもかかわらず、価格の高さから利用しにくいと感じている方々にデリバリーをもっと気軽に利用してもらえよう、Woltは今回、取り組みの趣旨に賛同して下さる加盟店の協力を募り、「デリバリーなのに店頭価格」の取り組みを札幌市エリアで開始することといたしました。Woltでは、2024年10月より広島呉市にて実証実験を行っていましたが、正式サービスとして導入するのは、今回が初めてとなります。

今回の「デリバリーなのに店頭価格」の取り組みには、札幌市内のWolt加盟店から、開始時点で120店以上の店舗が参加し、開始後も増えていく予定です。札幌市エリアのお客様はご自宅にいなから、Woltのアプリやウェブサイトで、取り組みに参加する市内の飲食店や小売店から、料理、食料品、日用品などを、従来のデリバリー商品価格よりも安く、店頭と同じ商品価格で簡単にご注文いただくことができ、約30分で商品がご自宅に届きます。本取り組みの対象店舗は、アプリやウェブサイト「店頭価格」の表示がされます。

Woltは、地域の皆様が日々気軽にお使いいただけるサービスとなることを目指しています。今後も地域の店舗と協力し、地域の皆様の日々の生活がより過ごしやすくなる取り組みを進めてまいります。

*別途配達料とサービス料が加算されます。アプリ内「店頭価格」表記の店舗が対象です。また、対象店舗であっても特売品等、一部商品が対象外の場合があります。

「デリバリーなのに店頭価格」の取り組み概要

サービス開始日：4月7日（月）

導入エリア：札幌市エリア

配達受付時間：8：00～25：00（店舗によって異なります）

対象店舗数：120店舗以上（4月7日時点）

対象店舗の例

- ・北海道らーめん 奥原流 久楽 本店（札幌市中央区）
- ・サッポロビール園 ガーデングリル（札幌市東区）
- ・でか盛り海鮮問屋 すすきの店（札幌市中央区）
- ・キッチン鑑水商店（札幌市中央区）
- ・自然卵のクレープ（札幌市中央区）
- ・すしの菱田（札幌市中央区）
- ・PROTEINBOWL サッポロファクトリー店（札幌市中央区）

Woltについて

Woltはヘルシンキを拠点に、地域で愛される人気のレストランやショップとの出会いの機会を創出し、商品の迅速な配送サービスを提供するテクノロジー企業です。地域の物流サービスからリテールに関するソフトウェア、金融ソリューションまで幅広い技術を開発しています。

2014年に創業し、2022年にDoorDashと協力関係を構築しました。現在、世界31か国においてWoltのプログラムとブランドで運営を行なっています。